

優秀実践校、図書館、団体の紹介

○津市立藤水小学校

(つしりつふじみずしょうがっこう)

図書館担当や図書館司書補佐が読書計画を立て、全校参加のビブリオバトルや図書ボランティアによる企画、幼稚園・保育園との連携など、多様な立場の人たちが主体的に読書活動に参画している。

1年生ビブリオバトルへの園児の参加や、進級間近の1年生による次の新入生への選書に取り組んでいる。

○伊賀市立青山小学校

(いがしりつあおやましょうがっこう)

学校図書館が地域全体の文化交流の場となることをめざし、令和6年度学校図書館アドバイザーのもとリニューアルした図書館で、月に2回の地域開放や夏季休業中のブックカフェなどを開催している。

学校長による保育園での読み聞かせや、中学校への学校図書館活用アドバイザーの派遣を実施している。

○三重県立伊勢高等学校

(みえけんりついでこうとうがっこう)

スーパーサイエンスハイスクールの指定校であり、学校図書館において探究活動に必要な資料の選定を随時行い、生徒の探究活動に対応できる蔵書の構成に努めており、生徒一人あたりの貸出冊数を高水準に維持している。

探究学習の進度に合わせ、県立図書館・県内の高校図書館の資料を借受し、探究に対応できるよう資料の準備を行っている。

○松阪市松阪図書館

(まつさかしまつさかとしょかん)

おはなし会や行事の充実などにより、子どもや保護者にとって図書館が親しみやすい場所となるよう取り組んでいる。

平成30年度から電子図書館サービスを開始し、デジタル社会に対応した読書環境の整備にも取り組んでいる。

○おはなしクラブいがぐり（伊賀市）

(おはなしくらぶいがぐり)

伊賀市上野図書館においての定期的なおはなし会や年1回のイベント、伊賀市内5校へ月1回おはなし会を実施している。

本棚の製作や図書室の利用方法に関する掲示物の作成だけでなく、教職員と協力し、全児童ビブリオバトルの実施や本を紹介するキャプションづくりなどの図書室の整備にも取り組んでいる。